

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	2005年にISO14001を認証取得し、その後、エコアクション21を取得した。現在は、エコアクション21の制度に準じて環境マネジメントを行っている			3.9			6	7				12	13.3	14	15					
19	□	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】環境活動レポートを作成、公表する。											12.6								
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】再生可能エネルギーの利用を検討する。							7.2						13						
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	再生紙を積極的に使用している。 雨水を貯め、樹木の水やりにも利用している。											12.2	13	14	15					
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】汚職・贈収賄を禁止する行動規範を整備し、周知する。																16	16.5		
23	□	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】不正競争行為に関与しない行動規範を整備し、周知する。																	16		
24	公正な事業慣行	□	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許、商標等知的財産権の取得・管理している								8.2	8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本	個人情報を適切に管理し、プライバシーマークの登録認証を取得している。																16		
26		□	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社製品の原材料サプライチェーンで紛争鉱物は取り扱っていない。																	16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】取引先との対話を通じて、人権侵害防止等の取組状況の確認活動を行う。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
28	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	企画開発時に安全性に関するリスクを把握し、製品・サービスの提供後は顧客の声を社内で共有する仕組みを構築している。			3.9								12.4							
29		□	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	顧客の声を社内で共有する仕組みを構築しており、品質の向上に反映させている。										9								
30		□	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	企画開発時に環境影響の把握を行っている						6						12	13	14	15			
31		□	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	安心・安全・教育・命を守るをテーマに、社会課題を解決する製品・サービスを開発している。商品ではSDGsの啓発も行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

